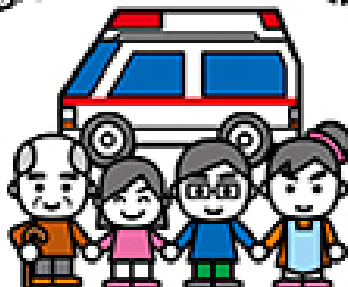


救急車の適正利用をお願いします！

救急車は
地域の限られた救急資源



救急車は、けがや急病などで緊急に病院へ搬送しなければならない傷病者のためのものです。緊急性がないのに救急車を呼ぶと、本当に救急車を必要とする事故や急病が発生した時に遠くの救急車が出動し、到着が遅れることで **救える命が救えなくなる** 恐れがあります。

緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用して下さい。

<図1>

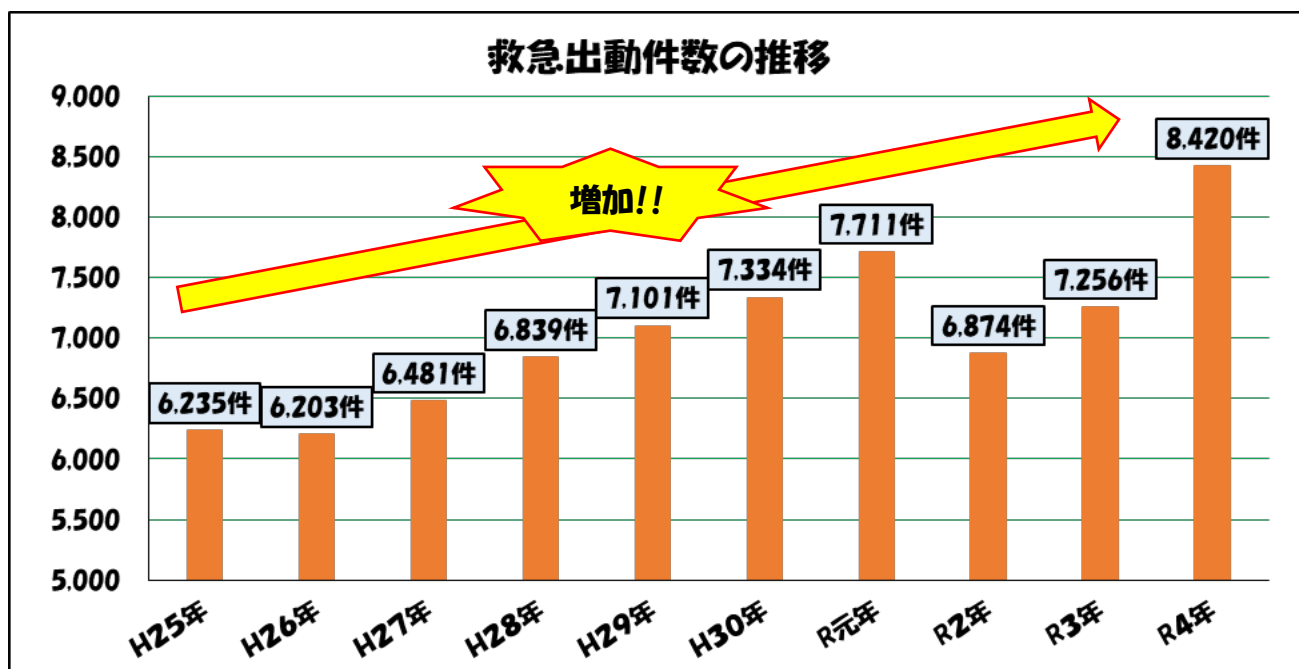


図1は鹿島地方事務組合消防本部管内（鹿嶋市・神栖市）における、平成25年から令和4年までの救急出動件数（不搬送を含む。）です。救急出動の件数は、年々増加、令和2年は減少しましたが、令和3年から再び増加しています。

※令和2年の減少の理由としては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった市民の行動変容により、急病、交通事故及び一般負傷等の減少に繋がったことなどが考えられます。

<図2>

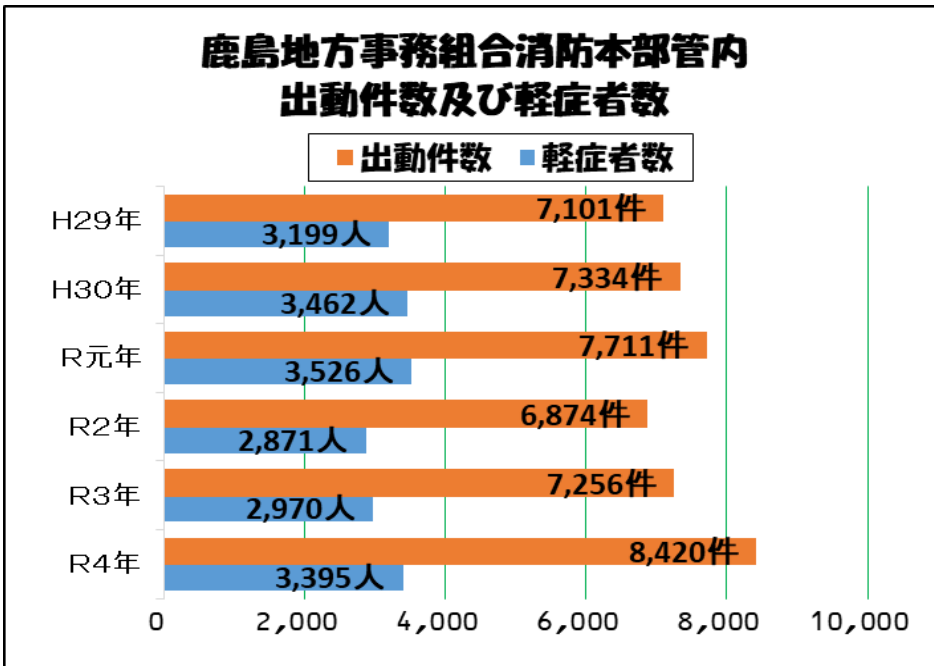


図2は、直近6年間の救急出動の件数（不搬送を含む）と、その内の軽症者の人数です。

救急出動のおよそ半数は入院の必要がない軽症の人であり、救急搬送が必ずしも必要なかったと思われるケースも少なくありません。

<図3>

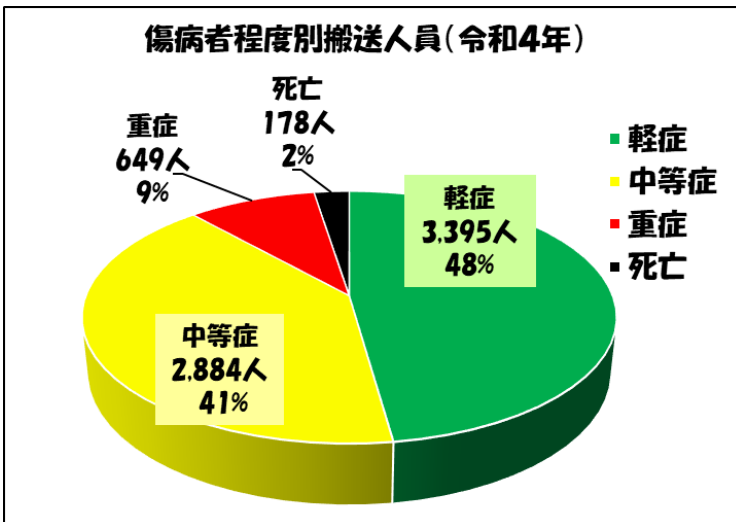
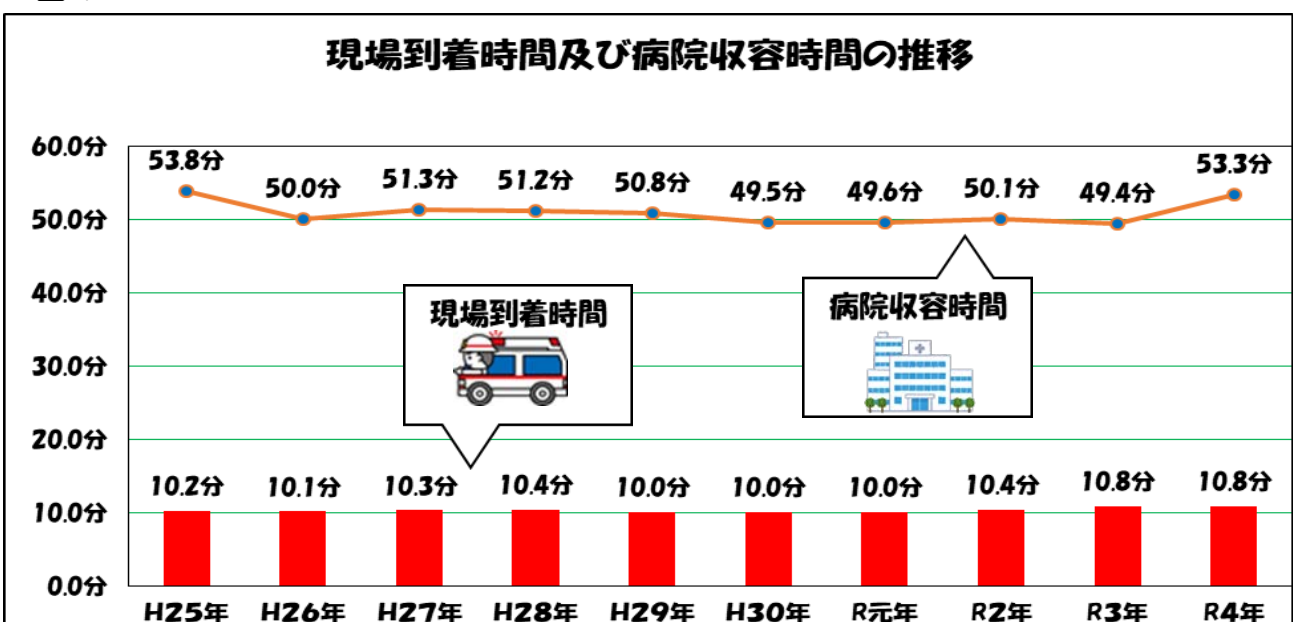


図3は、令和4年の救急出動のうち救急搬送された人の傷病の程度ごとの割合です。

図4のとおり、救急車が現場へ到着するまでに平均約10分、病院へ収容されるまでに平均約50分もかかっています。

緊急性がない人を搬送したため、一刻も早く病院へ行く必要のある傷病者が、遠くから来る救急車を待った可能性があります。

<図4>





- ・優先的に診てもらえる
- ・交通手段がない
- ・救急車は無料だから

これらの理由で救急車を呼ぶことは控えてください！

本当に救急車は必要ですか？



救急車を本当に必要とする人のために
適正利用についてご協力をお願いいたします

※いざという時は、下記のものなども活用してください。

- ・「茨城おとな救急電話相談（#7119）」、「茨城子ども救急電話相談（#8000）」
急な病気やケガで救急車を呼ぶべきか、すぐに医療機関を受診した方が良いのかといった判断に迷った際、医師や看護師等の専門家から電話でアドバイスを受けることができます。
- ・「Q助（きゅーすけ）」
急な病気やケガをした時に、緊急度に応じた必要な対応をサポートする救急受診アプリです。
- ・「救急車利用マニュアル」
総務省消防庁が作成した救急車を利用する際の留意点等について記載されています。

救急車は地域の限られた救急資源です。本当に救急車を必要としている人のためにも、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。